

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月1日

事業所名 U-KID`S MOMODANI

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	広めのプレイルームと個室が2つ、また必要に応じてパーテーションで部屋割りをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	88%	13%	10名のご利用者様に対し、常時5~6名のスタッフ配置を行っている。	送迎時に職員体制が手薄になることもあるため、運転専門のスタッフ導入を検討している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	88%	13%	事業所の所在階は3階であるが、エレベーターが設置されている。	室内に段差はないが、手すりなどの設置がないため、設置を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日清掃を実施し、清潔な空間を維持できるよう努めている。また、子ども達の活動内容に合わせて家具の配置なども検討している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	事業開始前の打ち合わせにて支援内容、スケジュールの確認を行い、終了時にも振り返りにて支援内容の改善をするため話し合っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年保護者にアンケートを実施し、データをまとめ、職員会議にて共有し、業務改善に繋げている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年保護者にアンケートを実施し、データをまとめ、職員会議にて共有し、業務改善に繋げている。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	38%	50%		毎年保護者にアンケートを実施し、データをまとめ、職員会議にて共有し、業務改善に繋げている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年度はじめに年間の研修計画を立て、毎月2回の研修を実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	利用開始時からアセスメントを行い、課題の整理や支援内容の調整を行い、児童発達支援計画に反映している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	NCプログラムの発達アセスメント、WAVESのアセスメントを導入している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援計画は、個別・集団を組み合わせた内容かつ、ご利用者様のニーズに合わせて作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	毎日打ち合わせを行い、当日のプログラム、支援内容、業務確認を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月のプログラムは、現在のご利用者様に合う活動をチームで検討し実施している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	毎月のプログラムは、現在のご利用者様に合う活動をチームで検討し実施している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	児童発達支援計画は、個別・集団を組み合わせた内容かつ、ご利用者様のニーズに合わせて作成を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日打ち合わせを行い、当日のプログラム、支援内容、業務確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	当日のご利用者様のご様子や、気づいた点、変化した点などを共有し、次回の支援内容を検討・共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	当日のご利用者様のご様子をチームで確認しながら記録を積んでいる。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度のモニタリングを実施。職員間で話し合い、次期支援計画の内容を検討している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	事業所の児童発達支援管理責任者が対応を行う。必要に応じて保育士や指導員が同席することもある。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	該当者に関しては、子育て支援室との連携を行い、定期的に情報共有を行なっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	75%	25%		現在、医療的ケアが必要な方の受け入れを行っていないが、必要に応じて対応を検討していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	63%	38%	ご利用者様の主治医の連絡先の確認を行なっている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	受け入れ開始前に電話連絡や訪問を行い、情報収集に努めている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	88%	13%		対象者がおられる場合は積極的に対応を行いたいと考えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%		現在、児童発達支援センターや、発達障がい者支援センターとの直接的な連携ができていないため、今後の課題となっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	50%	50%		感染予防対策のため交流を控えているため、今後の課題となっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	63%	38%	今年度は数回の参加となりましたため、次年度は積極的に参加できるよう努めていきたい。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	帰り送迎時の引き継ぎや、電話、LINEを用いて事業所でのお子さんの様子をお伝えしたり、ご家庭での様子の聞き取りを行なっている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	88%	13%	対応方法や、環境調整についてご自宅で可能な範囲で内容の情報共有を行なっている。	ペアレントトレーニングについて、研修などは行っていないため、開催を検討していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に細やかに説明を行なっている。必要に応じて適宜お伝えしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	半年に一度のモニタリング、保護者面談を実施。ご家族に説明を行い、同意を得ている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	ご利用者の状況に合わせて対応を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13%	88%		現在父母の会などの取り組みはないが、ご利用者様より要望があれば開催も検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談や申し入れがあった際、すぐに対応の検討を行い、保護者様に提案させていただき対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	Instagramを定期的に更新することや、次月のプログラムのお知らせを発行している。会報などは現在検討中である。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報使用同意書を保護者様に確認してもらい、ご記名・ご捺印を頂く。また、従業員との契約時にも秘密の保持についての確認を行っている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚的な情報の提示や、具体的な伝達方法を用いるように努めている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25%	63%		地域住民を招待するような行事などは行なっておらず、対応協議中である。Instagramの更新を通して、様々な方に向けて活動内容の発信を行っている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各種マニュアルの策定を行っているが、保護者様への周知が終了していないため、マニュアルの配布を行い、周知していく。	今後、保護者様にも各種マニュアルの配布を行い、内容の周知を行なっていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	75%	25%	年に2回、内容を変更しながら避難訓練を行っている。また、年に1度、防災センターにて体験プログラムに参加している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	88%	13%	契約時に確認させていただいている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	75%	25%	保護者様からの情報をもとに、おやつや昼食の内容の調整を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員間で今後の対応や、留意点について話し合い、共有を行っている。法人内の別事業所にも会議にて周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度、虐待防止・人権についての研修を全職員を対象に行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	88%	13%	身体拘束(制止)については個別支援計画に記載し、保護者様に了承いただいている。また、やむを得ず制止する対応を行った際は、状況と対応の内容を保護者様へ説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。